

絆

赤井むつみ後援会便り第61号

笑顔あふれる温かい町に！

2023年 9月 発行



決算委員会終了！

一般会計 収入（歳入）163億7,695万円（昨年は、176億9,144万円）
支出（歳出）158億2,816万円（昨年は、173億5,116万円）
貯金（基金）134億3,770万円（昨年は、126億9,889万円）
借金（町債）129億 517万円（昨年は、136億7,275万円）

今年も黒字決算となりましたが、昨年に比べ町税は増えたものの、地法交付税やふるさと納税が減ったため収入は13億円も減っています。そんな中、貯金が増え、借金が減ったことは職員全員の努力と、町民皆さまの協力の賜物だと思っています。

今後、国勢調査の結果、人口が減っていると、交付税もさらに減ることになりますが、国保病院の建設や庁舎の建て替えなど、大きな支出が控えているので、今からしっかりと準備していかなければなりません。最少の経費で最大の効果をあげると共に、町民の幸せにつながる行政を目指してほしいですね。そのためにもみんなで知恵を出し合いましょう！



補正予算より主なもの

2023年度 一般会計補正予算（第5号）より

- ★社会福祉総務費：275万5千円 冬季福祉手当給付費（灯油代）が、5千円から1万円にUP
- ★障がい者福祉費：3,700万7千円 自立支援給付費、日常生活用具給付費
- ★くまいし保育園：17万5千円 送迎車安全装置購入費
- ★予 防 費：382万円 不妊治療・先進医療費助成金と交通費助成金、事務費等
- ★環 境 衛 生 費：131万9千円 公衆浴場対策事業業務委託料
- ★農 業 振 興 費：1,870万4千円 飼料価格高騰緊急対策事業補助金
- ★農 地 費：801万9千円 入沢頭首工・入沢幹線用水路機能診断業務委託料
- ★サーモン種苗生産事業：5,037万2千円 土地購入費、建物購入費、土地収用法事業認定申請収入証紙代、広告手数料
- ★学 校 管 理 費：1,415万9千円 旧関内小学校校舎等解体工事請負費、スクールバス安全装置購入費
- ★教 育 振 興 費：70万円 山越小学校150周年記念事業助成金
- ★学 校 管 理 費：69万5千円 スクールバス安全装置購入費
- ★還付金及び返納金：2,361万円 償還金利子及び割引料

一般質問

問1 『情報共有が協働の第一歩！』

自治基本条例の基本原則の中で、情報の共有を図ることが、まちづくりを行う上で重要であることを位置付けています。また、昨年12月の一般質問に対しても「地域の課題解決や活性化を図るためには、住民の意見や提案をしっかりと受け止める体制作りが重要」と答弁されました。その体制作りはすでに万全なのでしょうか。6月に新庁舎基本設計の住民説明会が行われましたが『情報共有』という点から見ると、町長の持っている情報と私たちに示される情報の量が多量にも違い、共有は困難でした。町民皆さんの関心が強い内容に対し、このような対応では町民の心は離れてしまいます。今後、協働のまちづくりを進めるためにも、より丁寧な説明と情報共有のためのさらなる工夫が必要だと思っておりますが、町長のお考えをお伺いします。

答 『世代やニーズを考慮した情報の伝達に努める』

ここ数年、新型コロナの影響で意見交換を行う場が持てなかったが、新庁舎の住民説明会ももう少し工夫すべきと反省している。これからもより多くの町民に関心を持ってもらえるよう、わかりやすい内容や表現、各世代のニーズに対応した情報の伝達に努める。

問 今回の新庁舎の説明会の目的は、情報共有だったのででしょうか。それとも報告だけですか。

答 基本計画の内容を示しただけ。

問 報告ならあの屋根は木製に見えるけれど、鉄骨に木を貼ったものだとか、60億～70億円を予定しているけれど、過疎債やその他を工夫し町の持ち出しはいくら位になるなど、もっと丁寧にすべきで、これでは冷たすぎると思います。

答 数字が独り歩きするという懸念もあったが、建物の構造に関しては具体例を挙げて説明したら、もっと町民の理解を得られたかなと反省。今後も町民にわかりやすく情報提供していくことは非常に重要なので、世代毎に工夫した情報提供を徹底するよう各課に指導する。



問2 『人材確保とまちづくりの推進を多角的に！』

昨年12月に人手不足解消と町の活性化を目指し、民間企業との連携を提案したら、「民間の企業に積極的にアプローチしたい。更に今は企業版ふるさと納税『人材派遣型』というものがあるので検討してみたい」との答弁でした。その人材派遣型は、現在83自治体30社102人が活用され、1企業で58自治体に61人の社員を派遣している企業もあるそうです。ある企業では、ICTに関わる知識を持った社員を『非常勤職員』として地方自治体に派遣し、約9か月間ICTを活用した地域課題の解決に従事したそうです。民間の知識や技術を活用し、人材の確保と充実を図り、関係人口の創出・拡大も期待できる取り組みを検討して、早急に取り組むべきだと思っておりますが、いかがでしょうか。

答 『人材確保に向けて前進する』

企業版ふるさと納税にはルールがあり、八雲町は地域再生計画の中に研修牧場とサーモン養殖しかないなので他の分野での要望は難しい。今後、国や道と相談しながら、地域再生計画を変更し、他の分野で必要な人材がいる会社にアプローチすることは考えられる。

問 NECの話はふるさと納税とは別分野。他の自治体でも活用している人材マッチング会社との連携など、いろいろな方法で職員募集に積極的に取り組むべきではないでしょうか。

答 八雲町としてもいろいろな分野で人を探しているのでも民間企業と手を組む中で対応できる方策を町長と協議しながら、前に進めていきたい。

第3回定例会より(主なもの)



◎今回の定例会は初めて町長不在の定例会となりました。総括質疑、一般質問、決算委員会の全てにおいて、町長の考えを問うことが中心なので、不在だとその事業の成果等は聞けても、このことを通して今後どのように進めようと考えているのか等々問うことができず、自分の中では何とも中途半端な内容となってしまい、申し訳なく思っています。

◎やはり最も気になるのは、多額の税金を投入して始めた事業の進捗状況です。

- ・地域おこし協力隊に関しては、継続13人、新規10人を募集していましたが、結果的に継続11人、新規2人でした。地域おこし協力隊の皆さまの持っている力が120%発揮できるように、活動しやすい八雲町でありたいですね。

- ・福祉バス整備事業：930万9千円で購入した23人乗りの中型バスですが、座席の間が非常に狭く、実際に乗車した方たちからは不満が出ていました。今、中型バスは1社しか製造していないため、選ぶこともできないとのことでしたが、決して安くはないので使い勝手が良くなければ困りますよね。

- ・U・Iターン就職奨励金事業：1,320万円 初めての事業ですが、新規学卒者20人、転入者24人の44の方が、八雲町に就職しこの事業を活用したそうです。各事業所も、職員募集の時は、八雲町のこの事業を大いにPRして活用してもらいたいですね！

- ・研修牧場施設整備事業：9,674万円 R3年度の事業が4年度に行われ、研修牧場の外構工事が終了しました。4年度の決算は赤字でしたが、今後バイオマス発電の売電も始まります。研修牧場の目的通り、今後研修生が集まり、八雲町の酪農の支えになれるのはまだまだ先かな？

- ・サーモン種苗生産施設整備事業：6,473万8千円 さけます内水試道南市場購入707万1千円 河川流量調査840万4千円、運営管理費:4,926万3千円 生残率が下がり、後継者もままならない状況なので、熊石地域の産業としてしっかりと根付くことができるのか不安です。

議会報告会での意見より

<八雲会場>

- ・八雲高校のビジネス科は、1昨年15人、昨年14人、今年は4人。この問題をどうする。3年間20人を下回ったら間口減。そのことが議会で語られていない。道内では26校が全国募集をしている。高校支援と間口減は別問題として対応すべき。
- ・町長の方針をしっかりチェックしている議員もいるが、質問もチェックもしない議員もいる。その人の資質向上は個人に任せるのか。議会としてレベルアップを目指すのか。何もしない議員には報酬を支払いたくない。当選したらそれなりの責任感を持つべきではないか。
- ・今年4年ぶりに山車行列が通常開催したが、参加団体も山車の数も減って見栄えがしなかった。せっかく北海道3大あんどん祭りと言われているのだから、各企業にもあんどんを作って参加してもらえるように働きかけるなど、これからも大事に育ててほしい。町民も期待している。

<落部会場>

- ・町長はやり手で幅広く取り組んでいるが、議会としてその検証はしているのか。いつまで実験をし、これからどうなるのかを町民に知らせるべき。いくら首長が言っても、諦めるところは諦めるべき。庁舎も使えるものは使うと言っていたのに、最後には全部壊して新しくするなら子ども達に借金を残すことになる。財政が豊かなら良いが、議員は胸を張って大丈夫と言えるのか。

『土地収用法って何?』(補正予算より)

土地の収用とは、**公共の利益につながる事業のために使う土地の所有権などを強制的に取得すること**です。個人の土地でも公共事業に必要なになった場合は、強制的に提供しなければならないということを定めています。なぜこのような法律があるのかというと、例えば道路や公園、下水道、学校は、広大な土地を使うことになるため必要な土地を確保するのは困難だからです。

昨年、上八雲の民間の土地と施設をサーモン養殖のため買い取る予定が今年度に延び、議会としては買うことに賛成しました。しかし、今回売る条件としてこの「土地収用法」の活用を求められ、今、道や国に申請する用意をしているとの報告がありました。売る側がそのような申し出をするのはどうなのか、公共事業と言っても、後に会社に譲ることがはっきりしているのに公共と言えるのだろうか、という疑問が議会で起こり、今後話し合われることになっています。町は、「道や国が許可しなければ、この法は使えない」との説明ですが、道や国が認めなかった場合、八雲町議会としてそのような内容のものを認めてしまったこと自体が問題ではないかと考えています。

今年も生涯学習フェスティバル!

10月14日(土)

10時~14時

八雲町民センターで「木育」を行います

木の名前を覚えたり、木で巣箱やミニカーなど作ってみませんか? お子さんはもちろん、大人の方のお手伝いも大募集です! お待ちしております!!

10月21日(土)

9時~15時

**公民館集合・解散
ジオパークツアーが行われます**

加藤孝幸氏(地質専門家・八雲出身)他を講師に、今金町の砂金彫り跡などを散策し学べます。町のバスをお借りしますので、楽しく出かけましょう!

11月3日(金)

9時~12時 親子の自然体験

集合場所:八雲町役場&落部支所

入沢の山で植樹体験、その後とっても楽しいネイチャーゲームをします。雨天決行ですが晴れるといいですね。是非みんなで、八雲の自然を思いっきり満喫しましょう!

高学年はお子さんのみの参加もOKです

11月25日(土)

**10時~12時 八雲町公民館で
全町女性研修会が行われます。**

脳トレ漫談師「福々亭ナミ子さん」をお招きし、みんなで思いっきり笑って身体も心も脳も、今以上に元気いっぱいになってお帰りいただくこと間違いなし!是非、お楽しみに!

12月2日(土) 13時~15時

八雲町民センターで キッズパフォーマンスを行います。

子ども達が、歌やダンス、楽器演奏などいろいろ発表してくれます、是非、お越してください!

赤井むつみ後援会連絡先 八雲町住初町126

FAX=62-3632 電話=080-5588-2090(赤井)

赤井自宅 栄町56-12(栄町3区) ☎ 63-2090 ホームページは「赤井むつみ」で検索!

